

研究課題名	多発外傷に対する早期脊椎固定術への障害と予後への影響 についての研究
実施責任者	所属・職名： 脳神経外科 医長
	氏名： 福岡 俊樹
研究の概要	当院では、重症の多発外傷の患者様が多く搬送されてきます。重度の脊椎の骨折を伴う方も多く、早期に離床するためには手術が必要ですが、全身の状態が悪い方には早期の手術が行えないことがあります。手術の適正な時期について、治療を受けた患者様の情報をもとに、解析し検討することが目的です。
対象となる個人情報	年齢、性別、多発外傷の重症度、脊椎骨折の程度、手術時期、臨床的予後などの臨床情報及び画像情報
実施の期間	西暦 2010年 1月 1日より
	西暦 2020年 8月14日まで
研究対象	当院で治療を受けられた、脊椎固定術を要した重症の多発外傷の方。